

第 48 回 日本 PTA 関東ブロック研究大会 茨城大会報告

富士市 PTA 連絡協議会 家庭教育委員長 渡邊 寛子

10月21日(金)～22日(土)、茨城県ひたちなか市で開催された第48回日本PTA関東ブロック研究大会に参加させていただきました。今回のテーマは歴史と未来が息づく常陸国から伝えたい願い伝わる思い～愛する子供たちへ贈るメッセージ～でした。

1日目の文科会では、家庭教育力「愛」を伝えるメッセージ～人とのつながりを深め、親も子も育ちあうために～を研究テーマにまず、埼玉県本庄市立本庄西小学校と長野県辰野町立辰野中学校の事例発表を聞きました。どちらも今後のPTA活動の参考となるような事例でした。

次に、親と子の自己肯定感を高めるためにをテーマに常盤大学大学院人間科学研究科・人間科学心理学科 教授 秋山邦久氏をコーディネーターに6人1つのグループになり自分自身の困っている点を5個、良い点を10個をあげそれを元に自己紹介をすることから始まりました。「文脈」とは「いつ、どこで、だれが、

だれに対して、どのように」伝えるかということでコミュニケーションにおいて内容は7%、文脈は93%という割合で伝わるそうです。つまり内容だけを強調しても伝わらず「文脈」から伝える事が大事だそうです。相手（子供）が今どの発達段階にいるのかを判断し、きちんと「文脈」を考えて話さないと伝わらないという事です。

2日目の全体会は、ひたちなか市総合運動公園総合体育館で行われました。各分科会の結果報告後に大会宣言が採択されました。

アトラクションでは、常陸大宮市立大宮北小学校によります「こども歌舞伎」が披露され、それは伝統と格式ある大変素晴らしいものでした。

特別講演は、日本テレビ「世界一受けたい授業」にも出演された西成活裕氏による「深い学び」と思考体力についての講演を聞く事ができました。

この2日間で今後のPTA活動や自分自身の子育ての参考となるような大変貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。